

株式会社ニレコ(6863) 2019年3月期第2四半期 決算説明資料

2018年11月9日

本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

業績推移



実績及び計画

	18/3期上期	19/3期上期	19/3期計画
受注高	4,057百万円 (17/3期上期比+13%)	5,048百万円 (18/3期上期比+24%)	9,000百万円 (18/3期比+4%)
売上高	3,565百万円 (17/3期上期比+8%)	3,975百万円 (18/3期上期比+11%)	8,600百万円 (18/3期比+9%)
営業利益	204百万円 (17/3期上期比+72%)	386百万円 (18/3期上期比+88%)	810百万円 (18/3期比+15%)

重点テーマ

市場の拡大

技術の進化

+

株主還元

いかなる環境下においても成長できる体制の実現

事業基盤の拡大強化

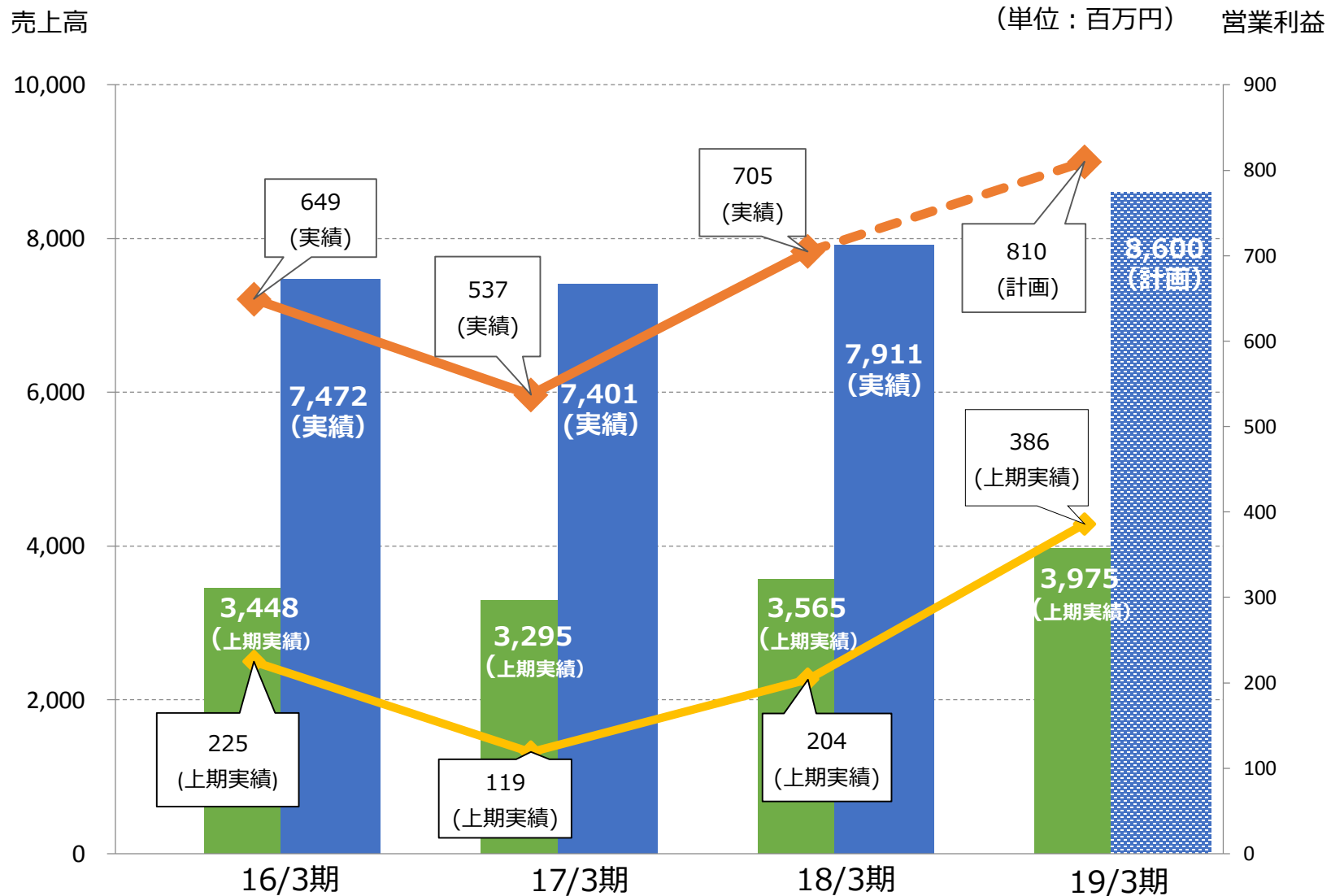
競争優位性の向上

19/3期上期の取組み進捗状況

- 海外拠点の整備(韓国に工場用の土地・建物取得)
- 二次電池、電子部品向け検査事業の開拓
- 新事業分野への検査装置の開発

安定配当の維持を基本に配当性向35%を目標

業績推移



棒グラフ：売上高 折れ線グラフ：営業利益

1. 上期実績
2. 今期計画
3. 持続的成長に向けて

1. 上期実績 (2018/4 – 2018/9)

連結実績

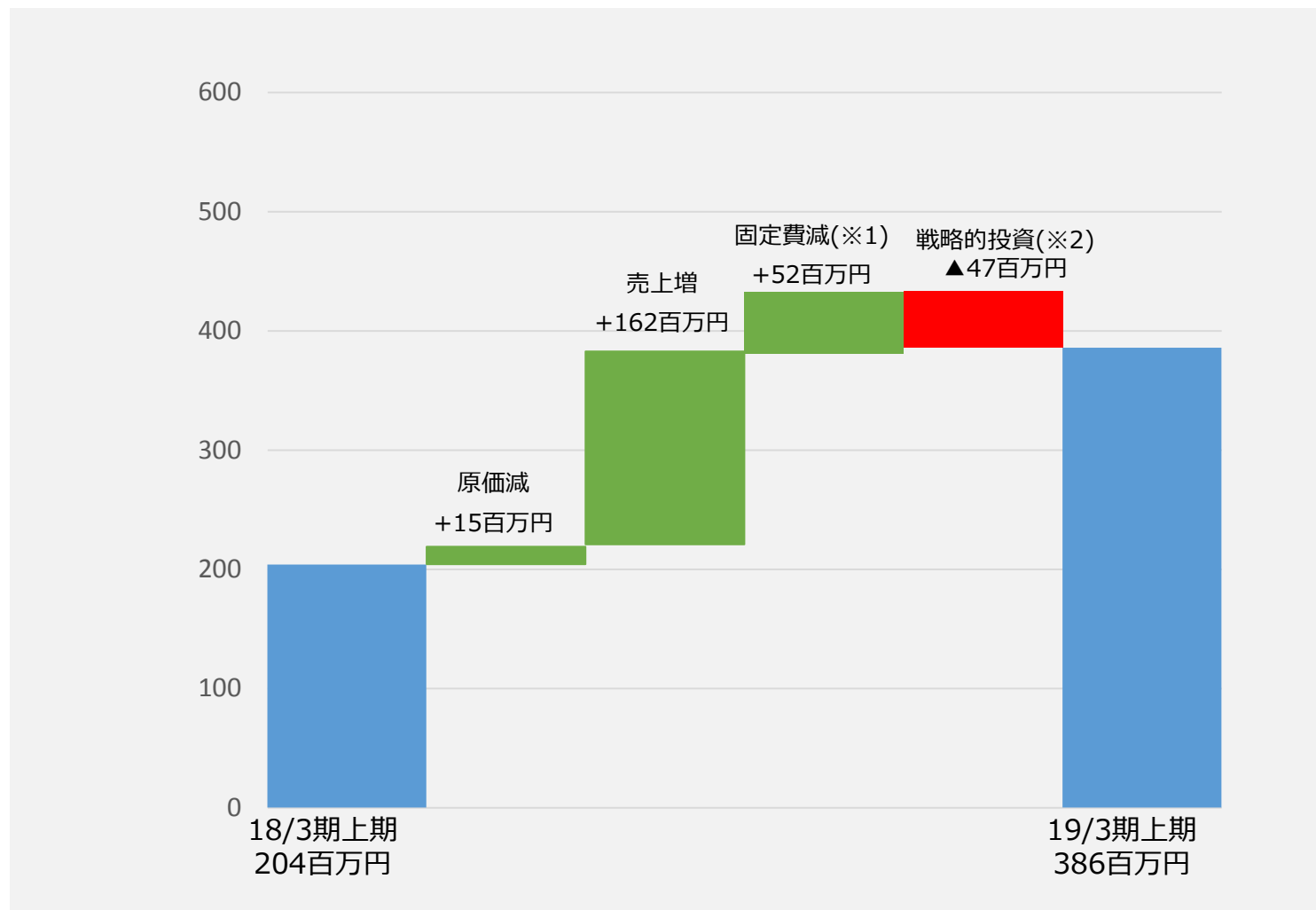
- 受注高・売上高・利益ともに前期比増、利益はほぼ計画どおり

(単位：百万円)

	18/3期	19/3期		増減率	
	上期実績	上期計画	上期実績	前期比	計画比
受注高	4,057	4,300	5,048	+24%	+17%
売上高	3,565	4,200	3,975	+11%	▲5%
営業利益	204	370	386	+88%	+4%
営業利益率	5.7%	8.8%	9.7%	-	-
経常利益	257	400	423	+64%	+6%
経常利益率	7.2%	9.5%	10.6%	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	173	260	244	+40%	▲6%
当期純利益率	4.9%	6.2%	6.1%	-	-
1株当たり当期純利益(円)	23.55	35.06	32.93	+40%	▲6%

営業利益増減要因

前期比



※1.固定費 = 販売費及び一般管理費 (研究開発費、のれん償却費を除く)

※2.戦略的投資 = 研究開発費、のれん償却費

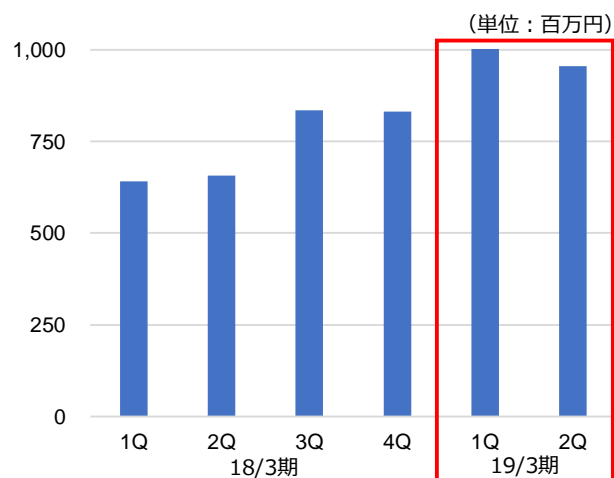
プロセス事業

- 受注高、売上高、利益において前期比で上回る
- 注力製品の位置制御、計測装置が増加

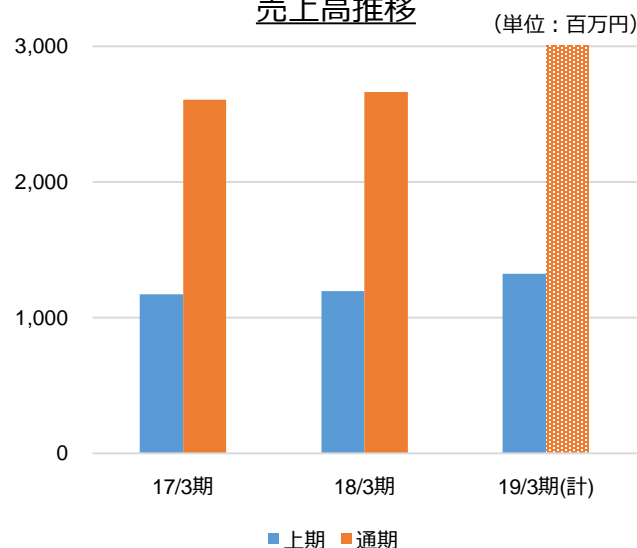
(単位：百万円)

	18/3期	19/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	1,282	2,031	+58%	3,350	61%
売上高	1,198	1,320	+10%	3,000	44%
セグメント利益	241	334	+38%	600	56%
セグメント利益率	20.2%	25.3%	-	20.0%	-

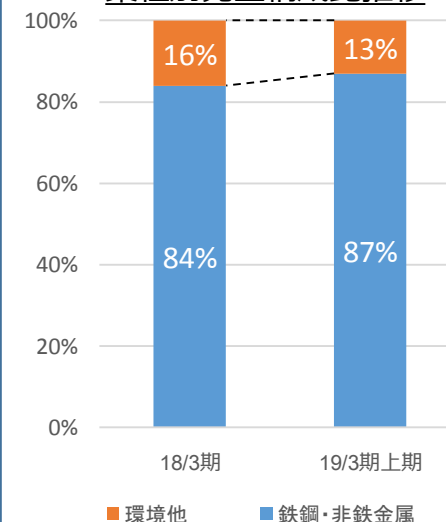
受注高推移



売上高推移



業種別売上構成比推移



ウェブ事業

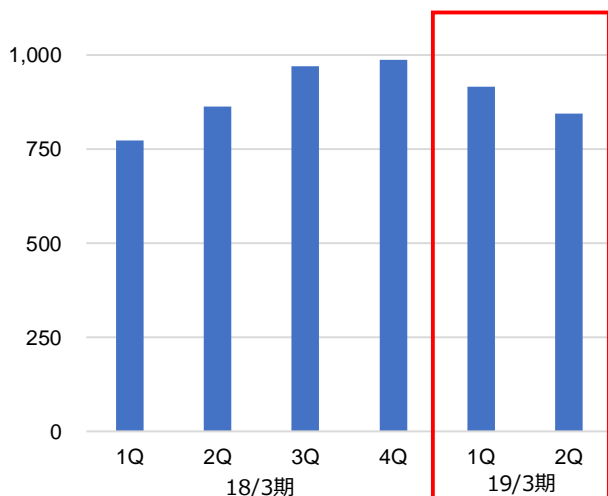
- 受注高、売上高、利益において前期比で上回る
- 二次電池、電子部品向け位置制御装置が高い水準で推移

(単位：百万円)

	18/3期	19/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	1,634	1,761	+8%	3,400	52%
売上高	1,593	1,721	+8%	3,400	51%
セグメント利益	360	428	+19%	800	54%
セグメント利益率	22.6%	24.9%	-	23.5%	-

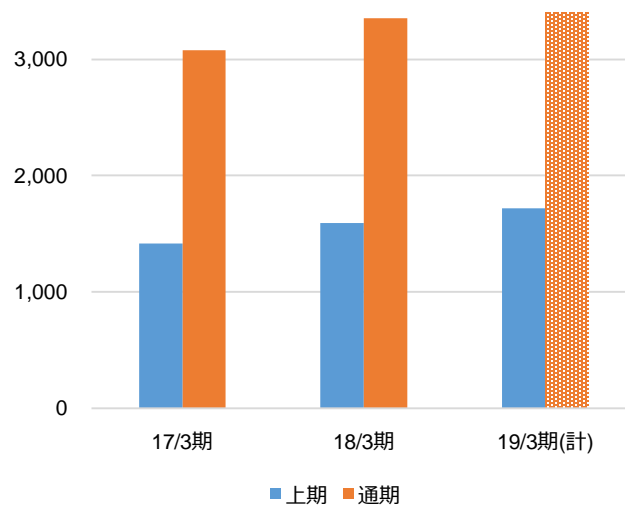
受注高推移

(単位：百万円)

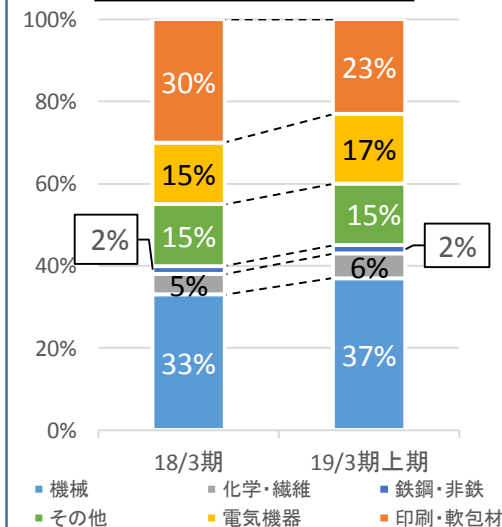


売上高推移

(単位：百万円)



業種別売上構成比推移



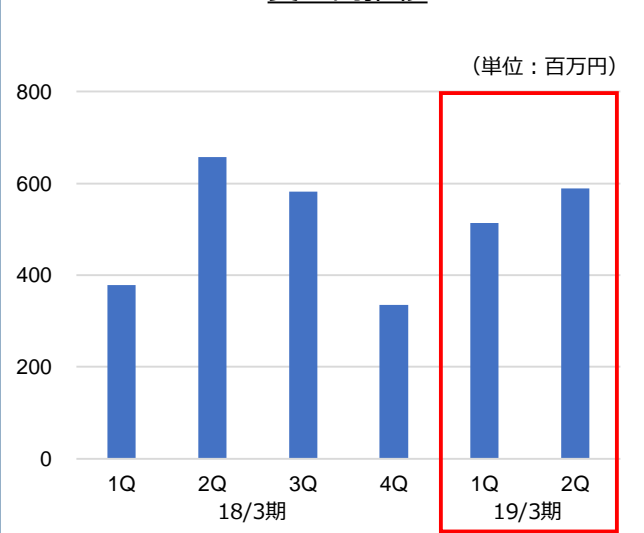
検査機事業

- 無地検査装置が受注高、売上高で前期比を上回る
- 選果装置は果物、野菜向け更新需要が堅調

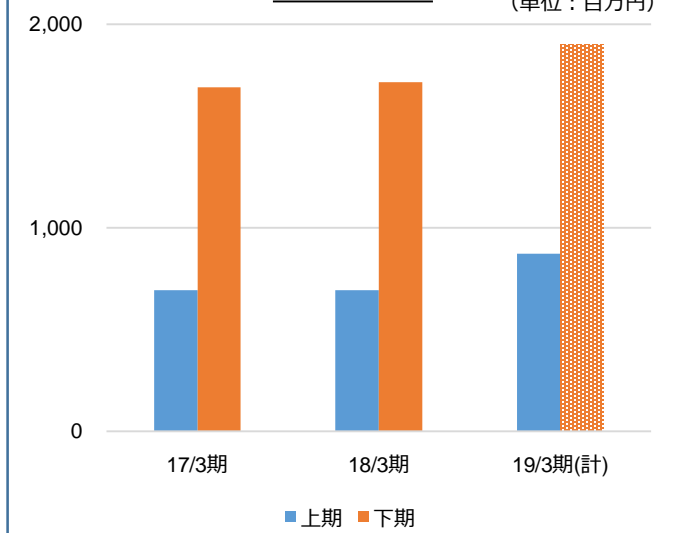
(単位：百万円)

	18/3期	19/3期		計画	
	上期実績	上期実績	前期比	通期計画	上期進捗率
受注高	1,035	1,103	+7%	1,950	57%
売上高	694	871	+25%	1,900	46%
セグメント利益	-13	-5	-	160	-
セグメント利益率	-	-	-	8.4%	-

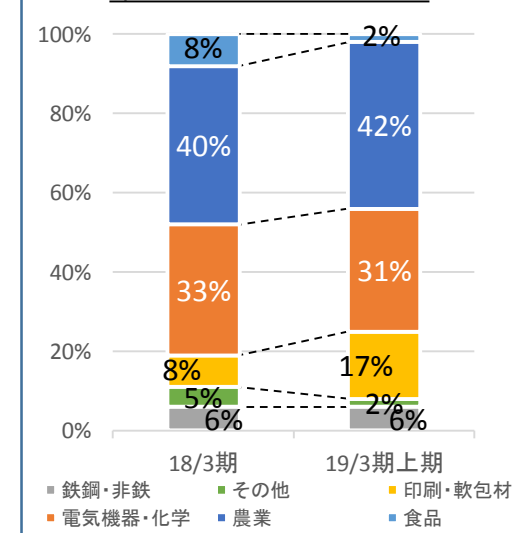
受注高推移



売上高推移



業種別売上構成比推移



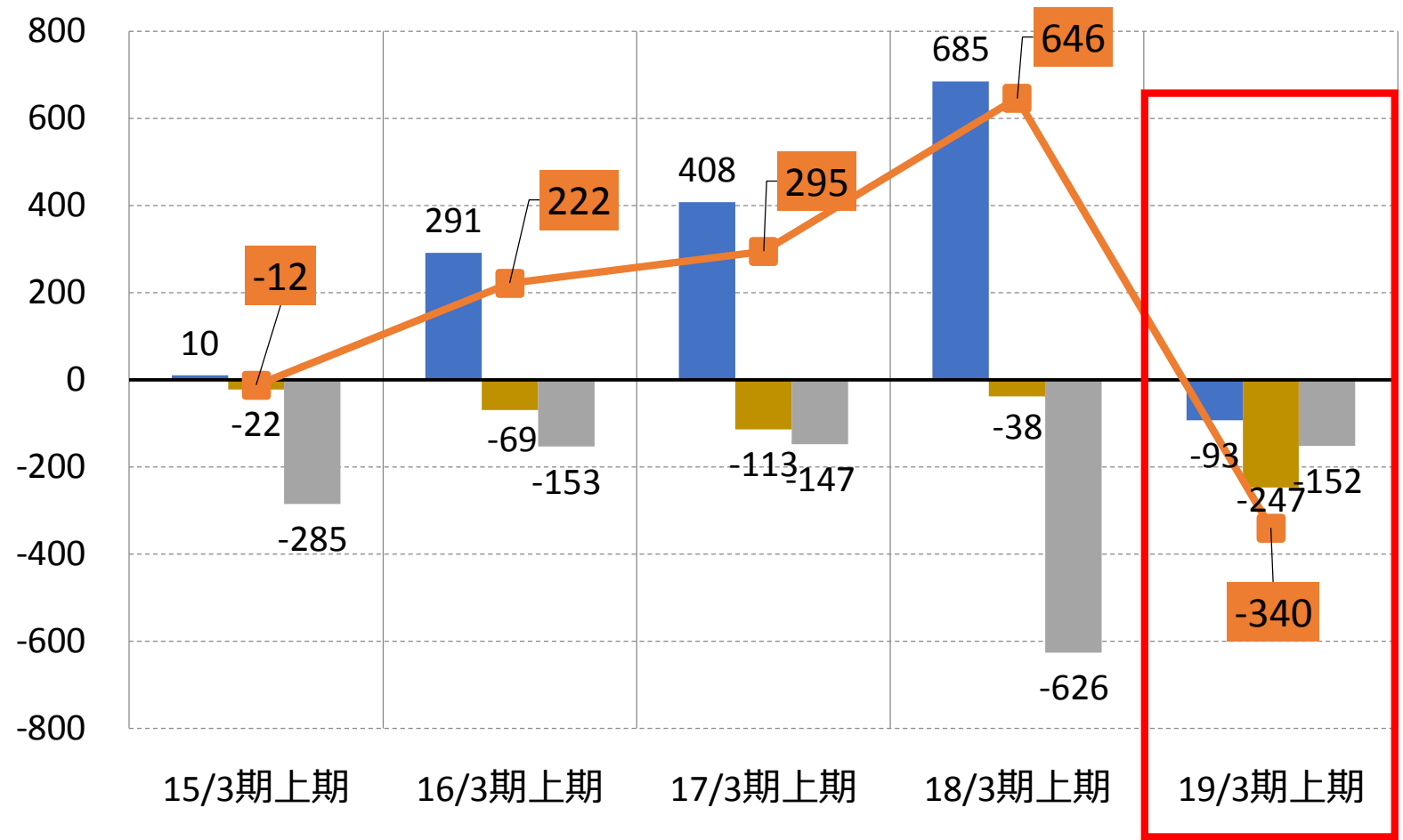
貸借対照表

(単位：百万円)

	18/3期		19/3期上期		前期末比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
現金・預金	5,180	36.5%	4,818	34.1%	▲ 362
売上債権	3,066	21.6%	2,878	20.3%	▲ 188
棚卸資産	1,626	11.4%	2,021	14.3%	+ 394
その他流動資産	115	0.8%	344	2.4%	+ 228
流動資産	9,988	70.3%	10,061	71.1%	+ 72
有形固定資産	2,002	14.1%	2,027	14.3%	+ 25
無形固定資産	372	2.6%	361	2.6%	▲ 10
投資その他資産	1,848	13.0%	1,695	12.0%	▲ 152
固定資産	4,223	29.7%	4,085	28.9%	▲ 137
資産合計	14,211	100.0%	14,146	100.0%	▲ 64
買入債務	405	2.9%	438	3.1%	+ 32
その他流動負債	1,066	7.5%	1,001	7.1%	▲ 65
流動負債	1,471	10.4%	1,439	10.2%	▲ 32
固定負債	142	1.0%	70	0.5%	▲ 72
負債合計	1,614	11.4%	1,509	10.7%	▲ 104
純資産合計	12,597	88.6%	12,637	89.3%	+ 40
負債・純資産合計	14,211	100.0%	14,146	100.0%	▲ 64

キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー
 ■ 投資活動によるキャッシュ・フロー
■ 財務活動によるキャッシュ・フロー
 ■ フリー・キャッシュ・フロー

19/3上期概況
 営業活動によるキャッシュ・フロー：棚卸資産の増加(-408百万円)、その他流動資産の増加(-237百万円)
 投資活動によるキャッシュ・フロー：土地・建物等の取得 (-141百万円)

2. 今期計画 (2018/4 – 2019/3)

今期計画

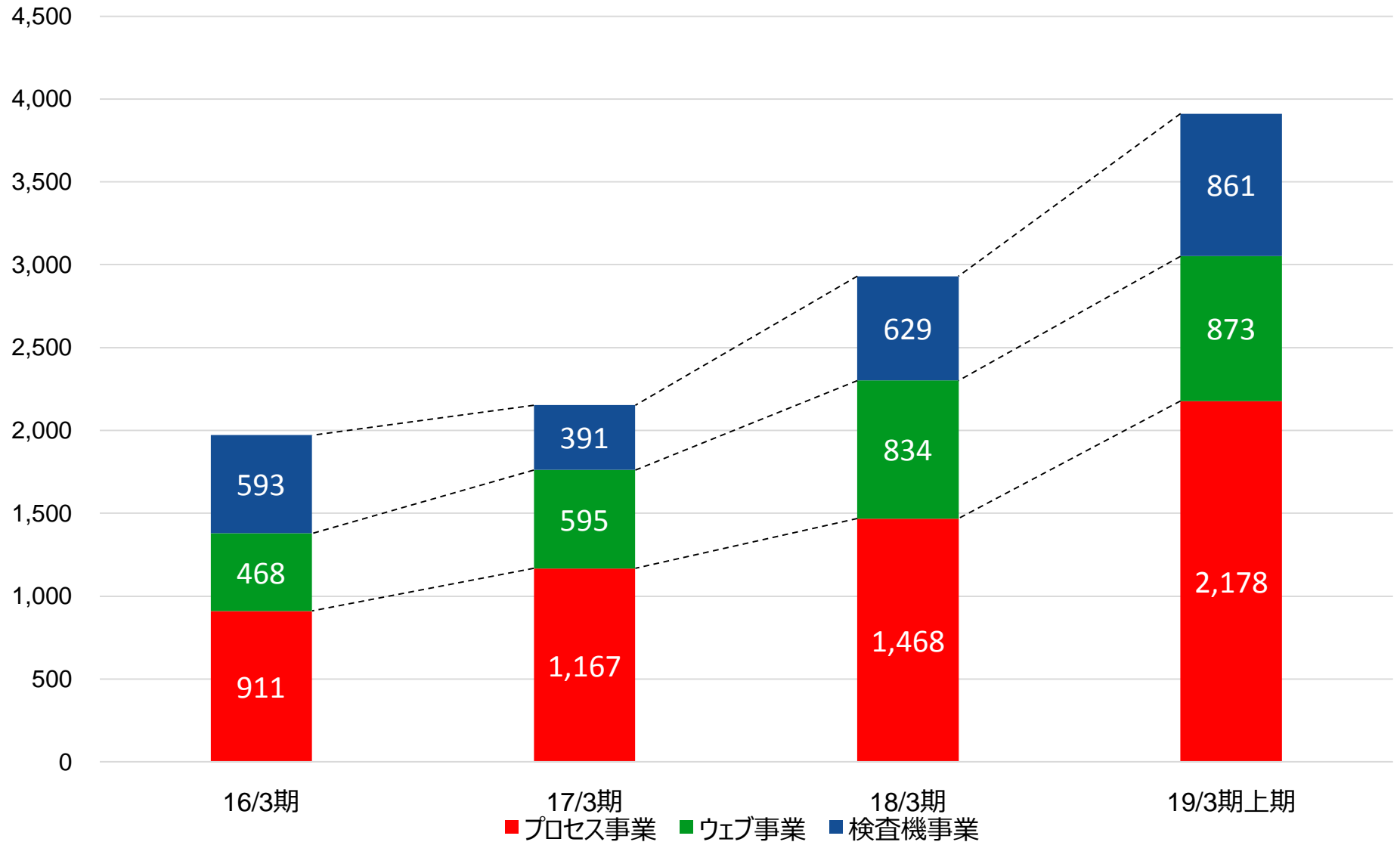
- 受注残高は高水準
- 経常利益率は10%へ

(単位：百万円)

	18/3期 実績	19/3期 計画	増減率 実績比
受注高	8,695	9,000	+4%
売上高	7,911	8,600	+9%
営業利益	705	810	+15%
営業利益率(%)	8.9%	9.4%	
経常利益	784	860	+10%
経常利益率(%)	9.9%	10.0%	
親会社株主に帰属する当期純利益	516	560	+8%
当期純利益率(%)	6.5%	6.5%	
1株当たり当期純利益(円)	69.79	75.51	+8%
受注残高	2,941	3,341	+14%

受注残高状況推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：プロセス事業

国内鉄鋼市場

- 競争力強化のための設備投資に注力



- 引き続き品質、生産性向上に資する製品の販売に注力
- 新規開拓を目指す計測システムの受注拡大

海外鉄鋼市場

- 先行きに不透明感はあるものの、中国、北米、韓国では老朽設備の更新需要は継続

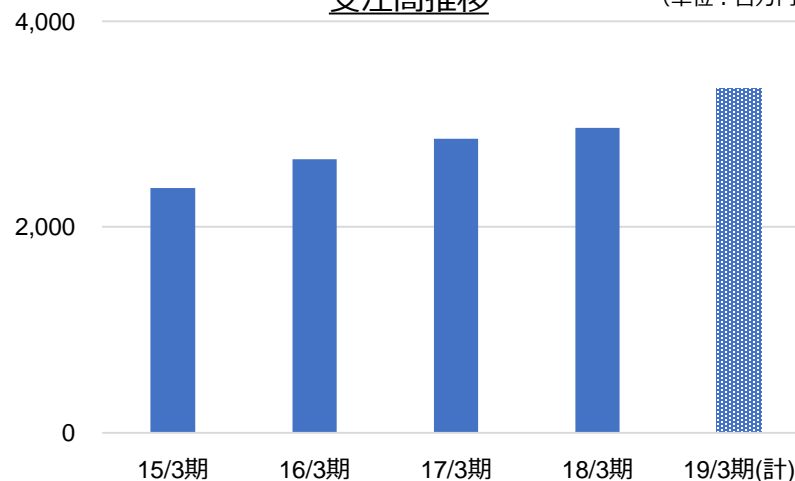


- 海外子会社、現地代理店を活用し中国、北米、韓国を中心にシェア拡大に注力
- 海外向け製品開発に注力

	18/3期 実績	19/3期 計画
受注高	2,964	3,350
売上高	2,663	3,000
セグメント利益	539	600
セグメント利益率	20.3%	20.0%

受注高推移

(単位：百万円)



対象市場の状況と施策：ウェブ事業

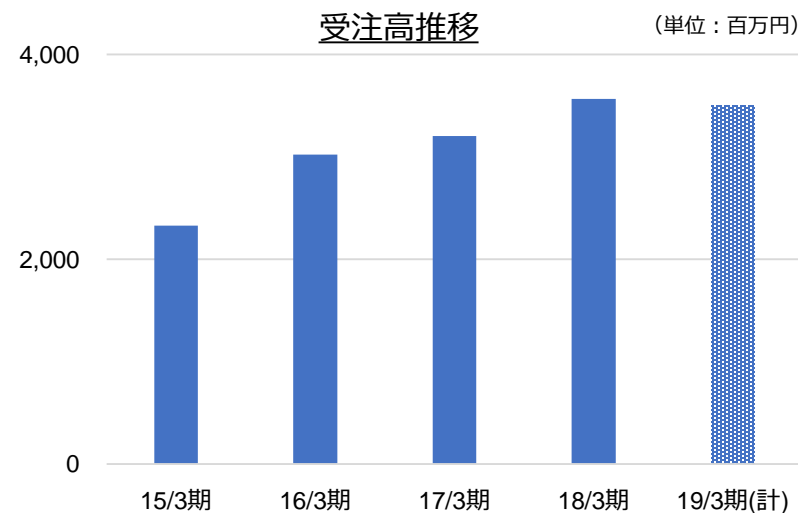
国内市場

- 二次電池、電子部品向けは調整局面も引き続き一定の水準で推移
 - 機械メーカーは高機能フィルム向けを中心に設備投資は堅調
- ↓
- 機械メーカーへの対応スピードアップのため設計・生産体制を見直し

海外市場

- 国内同様、二次電池、電子部品向けは調整局面も引き続き一定の水準で推移
- ↓
- 台湾、中国子会社を中心に東南アジアへの販売ネットワーク拡大

	18/3期 実績	19/3期 計画
受注高	3,593	3,400
売上高	3,354	3,400
セグメント利益	786	800
セグメント利益率	23.4%	23.5%



対象市場の状況と施策：検査機事業

高機能フィルム市場

- 二次電池、電子部品を中心に堅調な設備投資
 - ニーズの多様化
- ↓
- 幅広い市場の要求に対する対応力、提案力の強化
 - 次世代向け検査装置の開発を継続

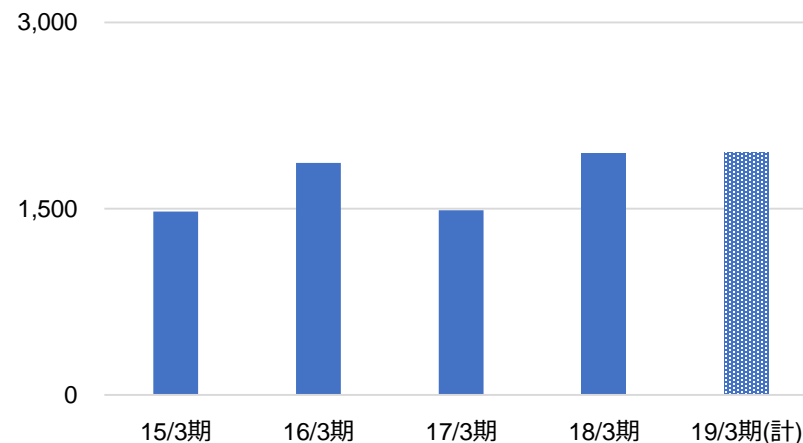
食品市場

- 個食化、食の安全意識の高まりにより新たな加工食品検査ニーズが増加
 - 選果装置の更新需要は堅調
- ↓
- 新たな加工食品検査ニーズへの対応強化
 - 選果装置の更新需要獲得

	18/3期 実績	19/3期 計画
受注高	1,952	1,950
売上高	1,714	1,900
セグメント利益	156	160
セグメント利益率	9.1%	8.4%

受注高推移

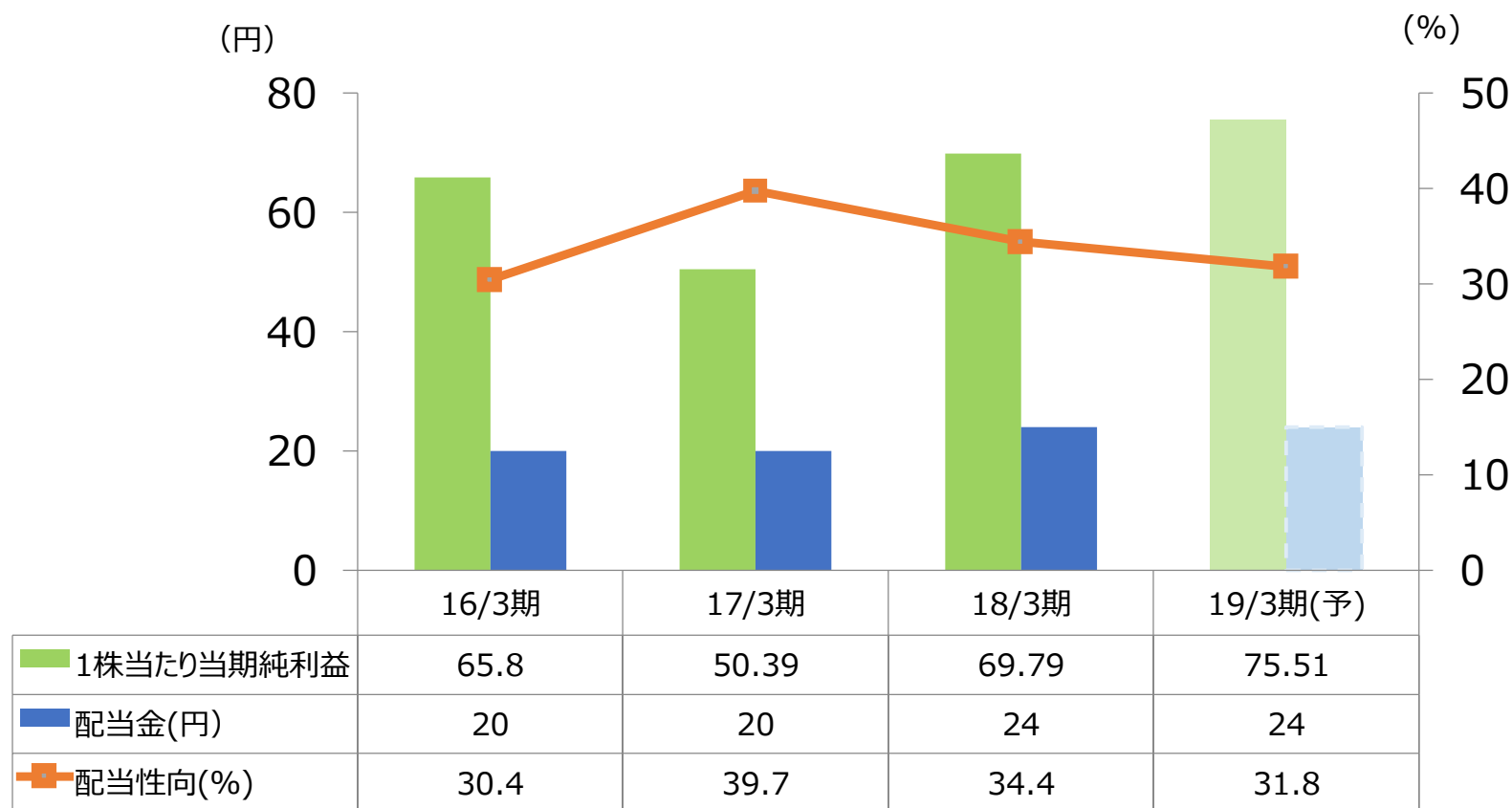
(単位：百万円)



株主還元について

基本方針 安定配当の維持を基本に連結配当性向35%を目標と定め、その実現を目指す

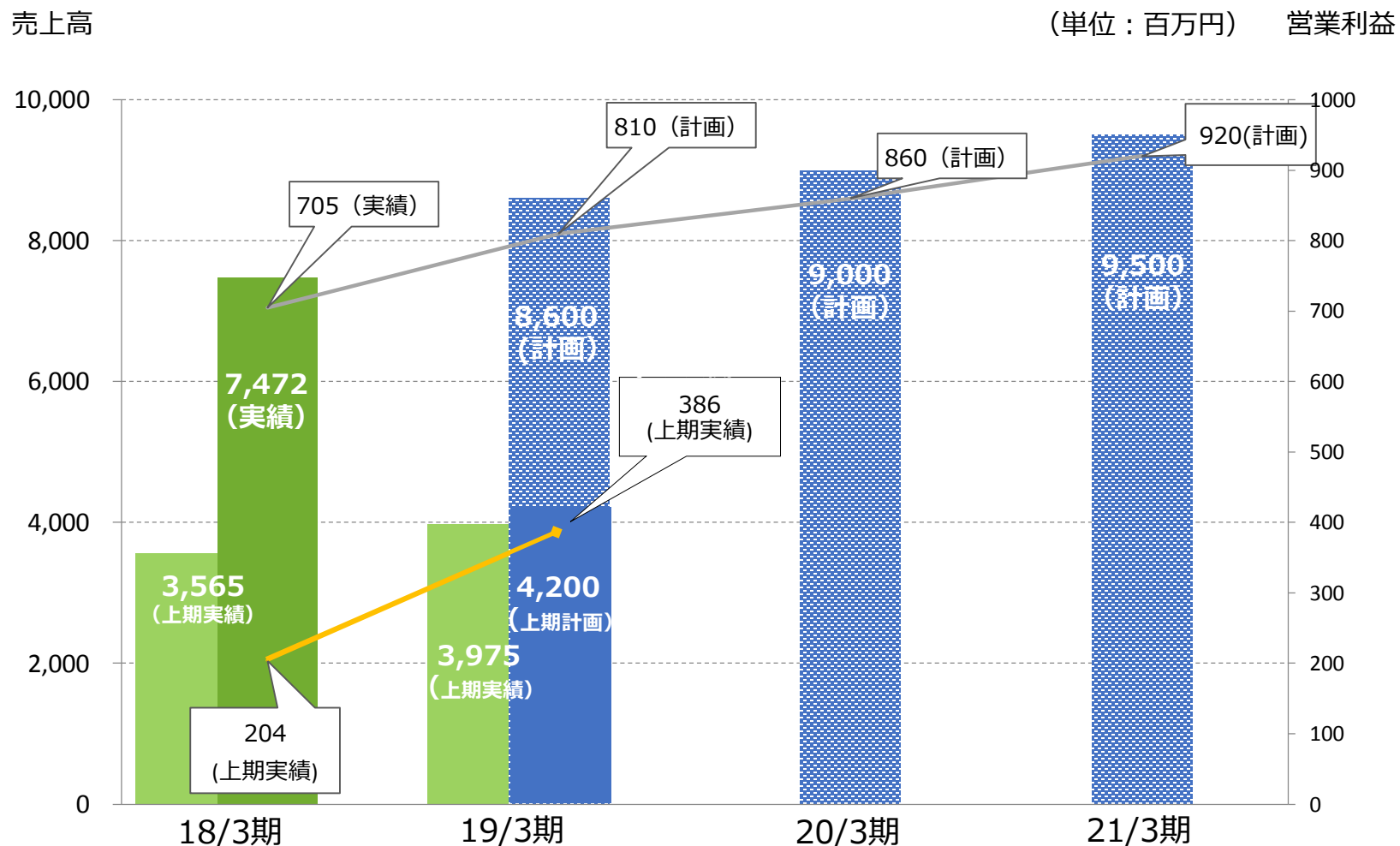
- 上記方針のもと、中間配当金は1株当たり10円と前中間配当金と同額を決定



3. 持続的成長に向けて

3カ年計画進捗

- 計画初年度と位置づけ来期以降の持続的成長の実現に向け重点テーマを推進



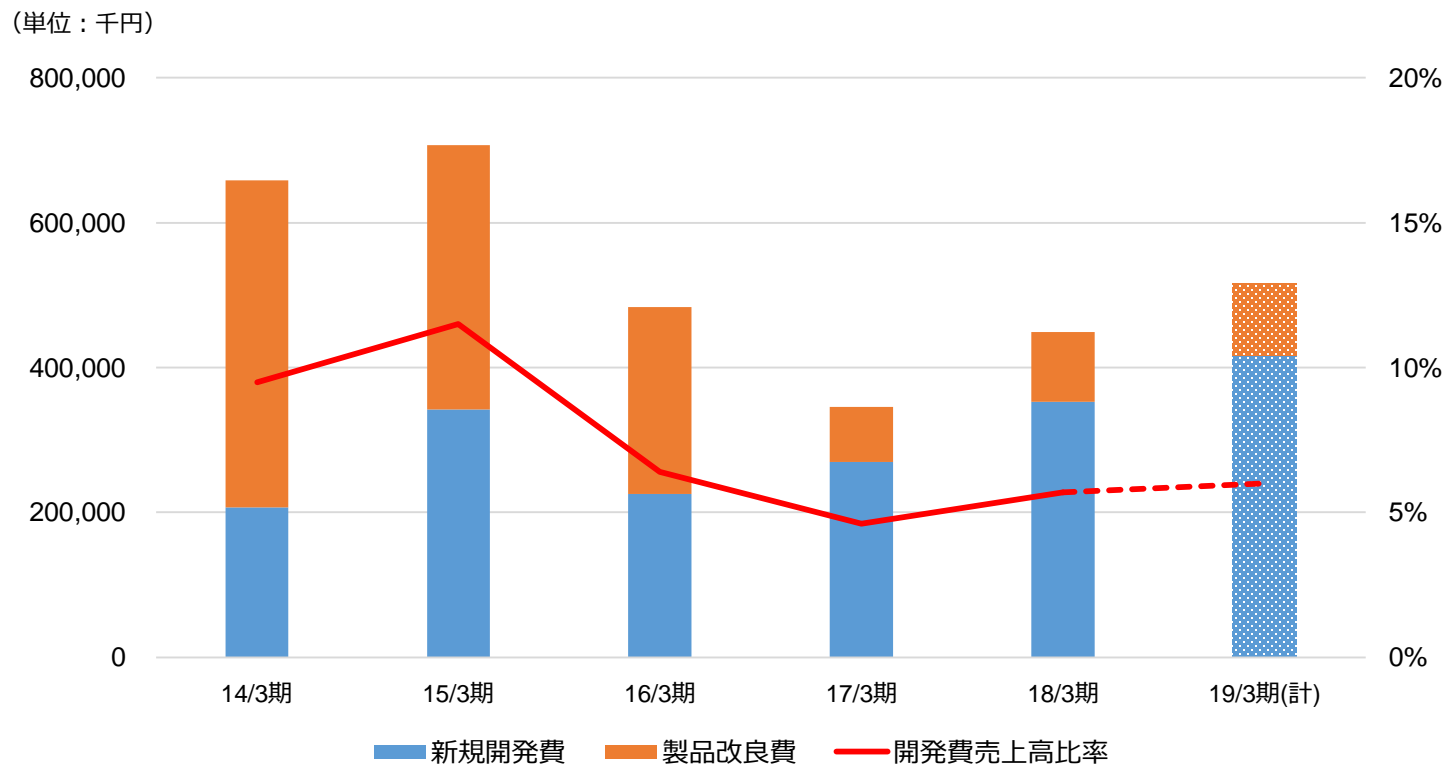
棒グラフ：売上高 折れ線グラフ：営業利益

R&D

➤ 新たな収益源の創出に向けて新規開発案件への取組み強化

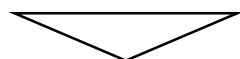
主な開発テーマ

- 次世代検査機の開発
- レーザー技術による製品開発
- 磁界、マイクロ波技術による製品開発



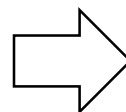
持続的成長に向けた重点テーマ

いかなる環境下においても成長できる体制の実現



市場の拡大

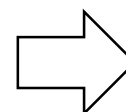
- 海外展開の推進強化
- 加工食品市場の開拓
- 新事業分野の開拓



事業基盤の拡大強化

技術の進化

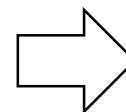
- 磁界、マイクロ波技術による製品開発
- 光学技術による製品開発
- 次世代技術に対応した検査機の開発



競争優位性の向上

経営体質の強化

- 積極的な成長投資による不足リソースの補完
- グループ連携強化によるシナジー最大化
- 競争力強化のための人的投資、並びにインフラ投資



経営基盤の強化

參考資料

会社概要

会社名	株式会社ニレコ
代表取締役社長	久保田 寿治
本社所在地	東京都八王子市石川町2951-4
設立	1950（昭和25）年11月
上場市場	東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）
資本金	3,072百万円*
連結従業員数	348名*
連結売上高	7,911百万円*

* 2018年3月期連結ベース

沿革

- 1950年 : 東京都中央区に日本レギュレーター株式会社を設立
- 1979年 : 東京都八王子市に本店を移転
- 1984年 : 商号を「株式会社ニレコ」に変更
- 1989年 : 日本証券業協会に株式を店頭公開
- 1990年 : ミスミ電子株式会社（現ミヨタ精密株式会社）を子会社化
- 1998年 : 仁力克股份有限公司を子会社化（台湾）
- 2003年 : 尼利可自動控制机器（上海）有限公司を設立（中国）
- 2004年 : JASDAQ証券取引所（現東京証券取引所JASDAQ（スタンダード））に上場
- 2014年 : Nireco Process Korea Co., Ltd.を設立（韓国）
- 2017年 : 株式会社メガオプトを子会社化

経営理念

「技術と信頼」

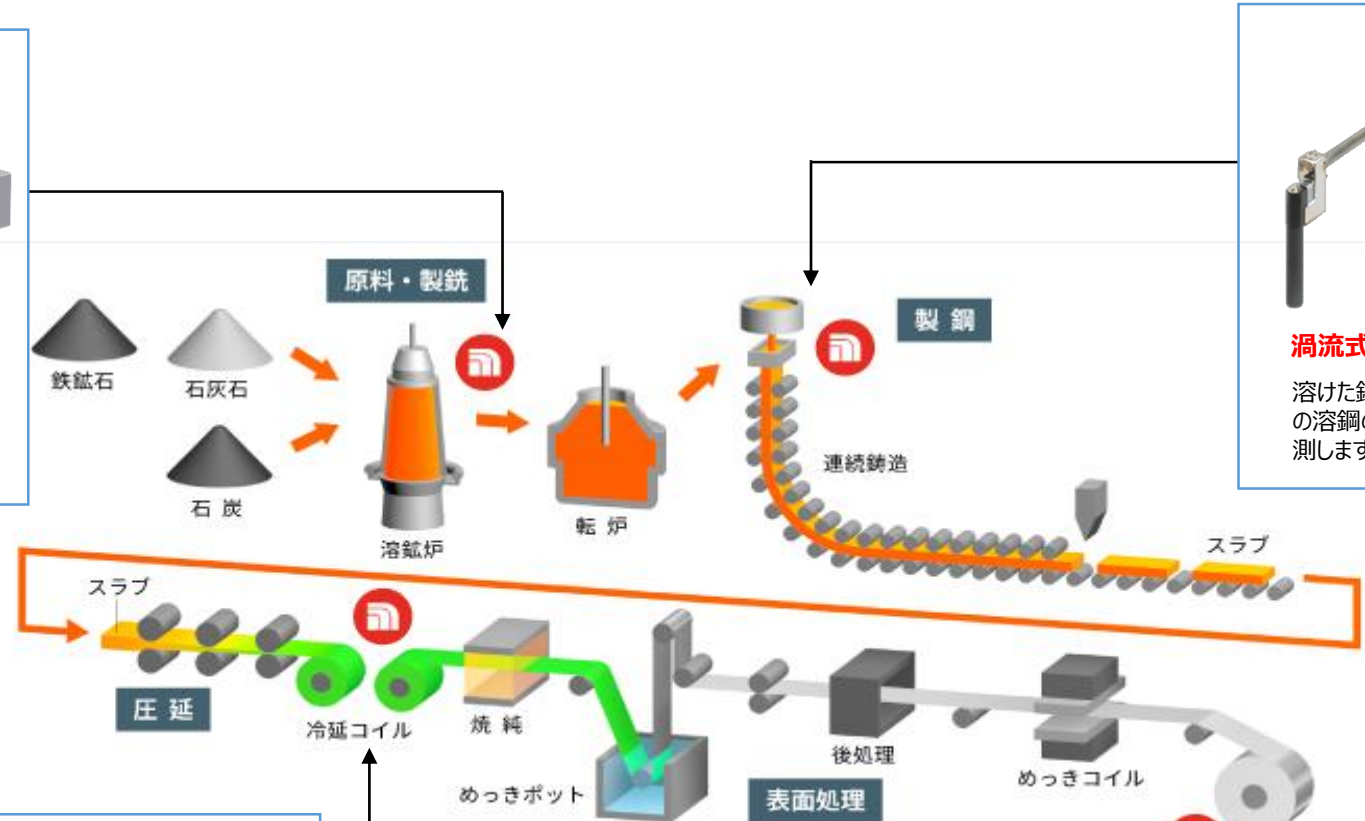
われわれは、制御、計測、検査技術を活かした製品ときめ細かいサービスの提供により、お客様から厚い信頼を獲得し、良きパートナーとして共に成長します。ひいてはパートナーシップにより生み出された価値が広く社会において喜びと感動をもたらす経営を目指します。

プロセス事業

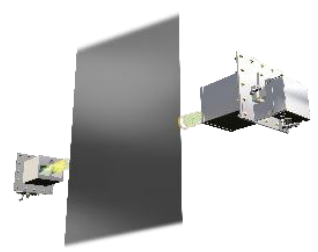
鉄鋼をはじめ、金属、ガス、化学工業などあらゆる工業における自動制御装置を扱う事業です。



プロセス制御装置
溶鉱炉内の圧力、流量、温度などの制御を行っています。



渦流式溶鋼レベル計
溶けた鋼を型に流し込む際の溶鋼の表面の位置を計測します。



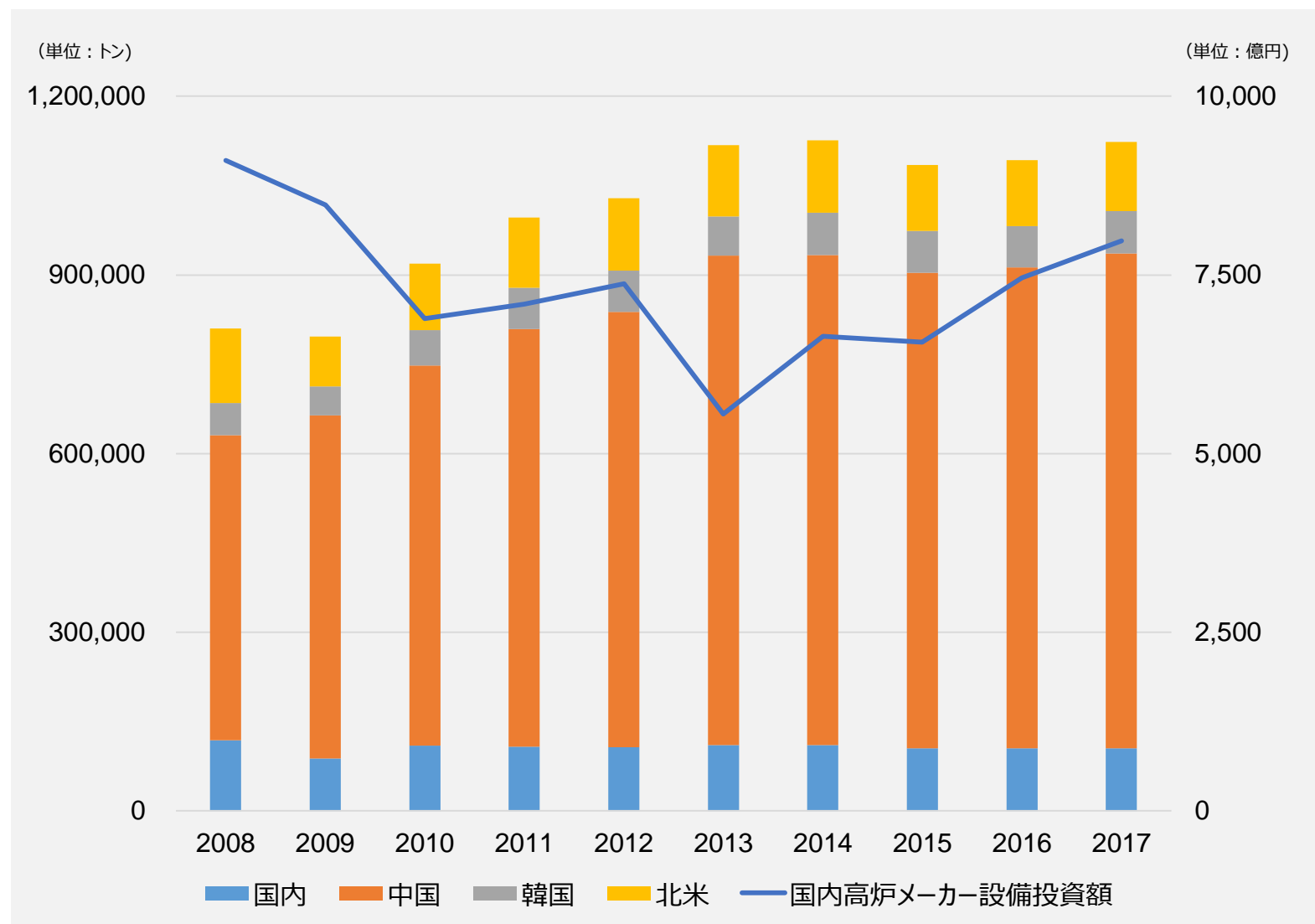
耳端位置制御装置
製造ラインを流れるスラブ（鋼材）の蛇行制御を行っています。



自動識別印字装置
できあがった金属素材に様々な情報を印字しています。

プロセス事業

地域別粗鋼生産量及び国内高炉大手設備投資額の推移



[出展：日本鉄鋼連盟]

ウェブ事業

主に紙・フィルム・箔など薄いシート状素材（=ウェブ）の位置制御装置などを扱う事業です。



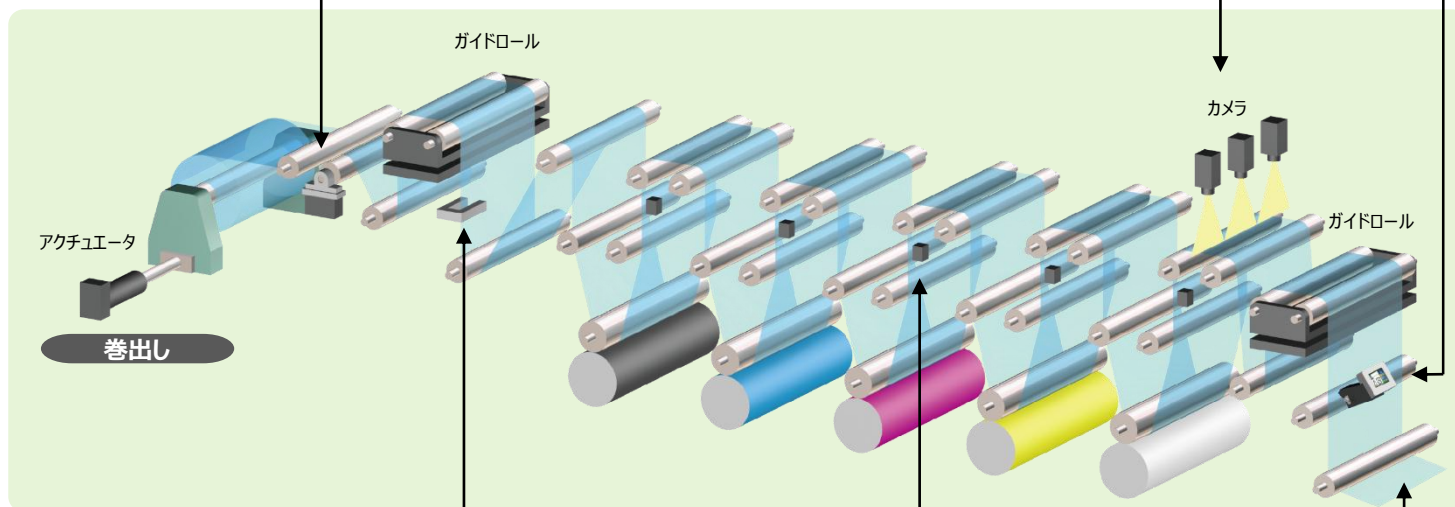
張力制御装置
ウェブの張力を一定に保ちしわ・たるみの発生を防ぎます。



印刷品質検査装置
印刷ラインの欠点を検出します。



**耳端位置制御装置
(絵柄基準)**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。




**耳端位置制御装置
(エッジ・センター基準)**
ウェブの規定位置を保ち蛇行を防ぎます。



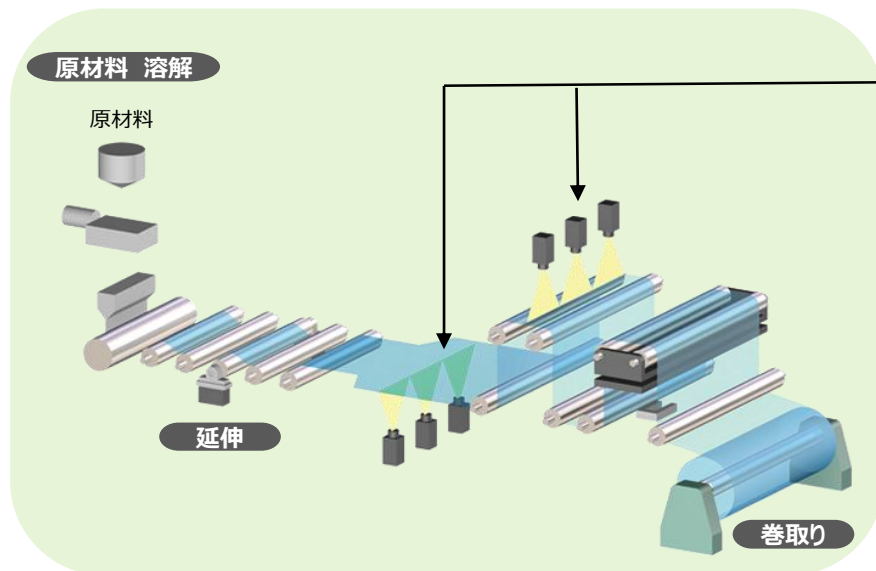
自動見当制御装置
グラビア印刷の縦横見当を自動制御します。



糊付け装置
様々な製品パターンに応じて糊付けを行います。

検査機事業

長年に渡り培ってきた画像処理技術をベースに、農産物から電子部材に至るまで幅広い製品の品質検査装置を扱う事業です。



無地検査装置

あらゆる加工現場にて高速搬送されるフィルム、紙、金属といった無地素材の表面欠陥（キズ、汚れ、異物）などを検査します。

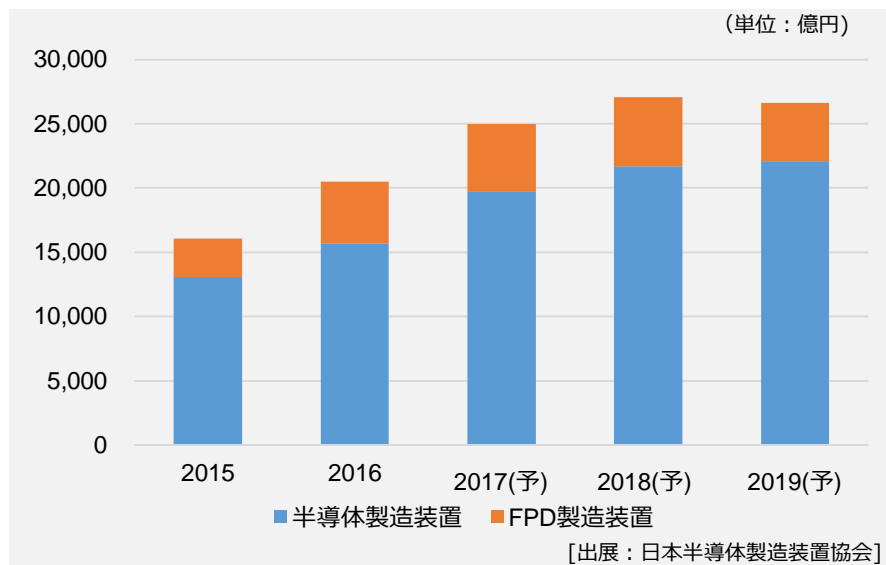
選果装置

農産物の品質を外部（キズ、腐敗、サイズなど）、あるいは内部（糖度、酸度）要因から瞬時に非破壊で判別します。

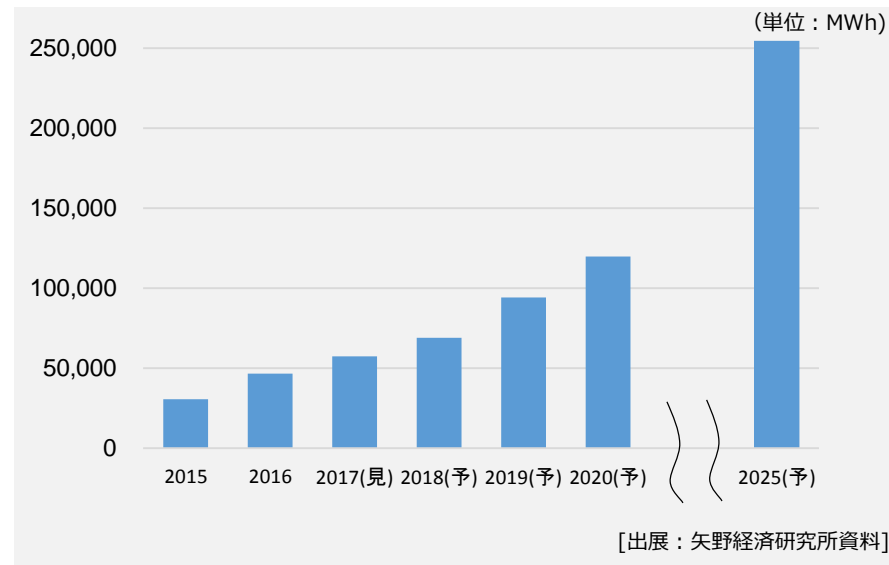


ウェブ事業 検査機事業

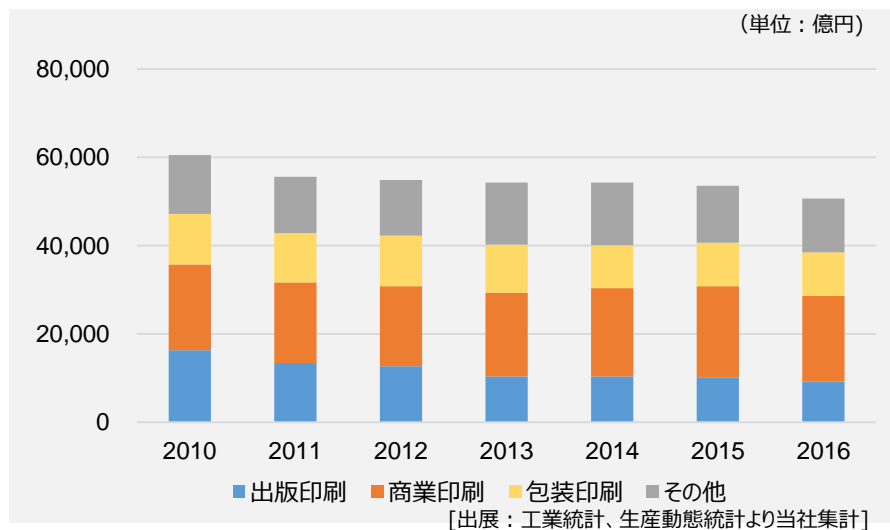
半導体・FPD製造装置需要予測 (対象セグメント：ウェブ・検査)



車載用Lib世界市場予測 (対象セグメント：ウェブ・検査)



印刷市場規模の推移 (対象セグメント：ウェブ)



食品機械国内販売額の推移(除、加工機械)(対象セグメント：検査)

